

「土佐市バイパス（蓮池地区）延伸部整備進捗状況、今後のスケジュール」

問 土佐市バイパス延伸部整備の進捗状況、今後のスケジュールについて問う。

山本都市環境課長

令和2年9月事業着手住民説明会を実施後、全ての地権者に説明完了、今後、国土交通省に確認したところ、令和5年度内に保証金額等算定、令和6年度を目途に用地契約に関する協議交渉を開始予定。本市としては、1日も早い事業完了に向け、国土交通省と協議し、事業実施に協力していく。

「教育・部活動の地域移行について」

問 部活動の地域移行について、本市のお考え、子ども達に与える影響は。

板原市長

公立中学校の部活動の地域移行は、県検討会議に出席し、協議している。本市では、学校から切り離された場合の指導者確保や活動費の財源など課題は山積している。生徒が不利益を被らないようさらに協議を重ね市としての考えをまとめていく。

「教育・不登校の現状及び対策について」

問 不登校対策は県教育大綱の柱、不登校発生率は高い状況である。本市の不登校の現状及び対策については。

井上学校教育課長

令和3年度の小中学校の不登校は、小学9人、発生率0.79%、中学29人、発生率6.07%発生率は高知県全体でみても上がっている。学校や教育委員会だけで対応することは困難な状況にきており、本市では、学校、教育委員会、子育て支援課、健康づくり課、福祉事務所等が連携。気になる子どもの情報共有や不登校につながる可能性のある課題の早期発見、解決を目指す。

「新型コロナウイルス5類移行後の医療体制、運営などについて」

問 3年余りにわたったコロナ禍は、病院経営に大きな影響を与えてきた。今春以降は、コロナ体制からの転換を強いられることになり、病院は、新たな試練を迎える。新型コロナウイルス5類移行後の医療体制、運営などは。

横川病院事業副管理者

5月8日から感染症法上5類に移行発表。にわかに様々な対策や特例等検討されているが、曖昧さと困難さが目立つ内容である。今後の医療体制運営は、コロナ補助金をみこまず、入院、外来の料金収入の回復をもち収支均衡を図ることが重要。そのために入院患者の確保が必要です。これまでの感染症病床に多くを占有されてきたものを、今後は最小スペースで一般入院患者との共存が求められる。

その他の質問・土佐市健康都市宣言について

・認定こども園について